

# 令和2年度 事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

## 1. 事業の状況

定款第4条の定めに従い、次の事業を行った。

### (1) 文化財保存修復助成事業

国内文化財の保存修復助成事業として、27都道府県教育委員会から推薦のあった47件の中から、26件について助成を行った。

No.	都道府県	事業名		申請者	助成額
		指定	【美術工芸】		円
1	宮城	県	丈六阿弥陀如来坐像蟻害対策事業	保昌寺	200,000
2	山形	県	木造十一面観音坐像保存修復事業	西明寺	300,000
3	鳥取	県	木造菩薩形立像修理事業	大日寺	300,000
4	愛媛	県	木造阿弥陀三尊像のうち両脇侍立像保存修理事業	円明寺	400,000
5	高知	県	「旧赤岡町の土佐芝居絵屏風」保存修理事業	赤岡絵金屏風保存会	300,000
			小計(5件)		1,500,000
		指定	【建造物】		
6	岩手	県	村上家住宅修理事業	尾崎邦夫・尾崎朋子	300,000
7	福島	県	如法寺観音堂 浜縁修繕事業	如法寺	350,000
8	茨城	県	長勝寺本堂屋根葺替等修繕事業	長勝寺	500,000
9	栃木	県	医王寺大師堂・唐門 屋根保存修理事業	医王寺	400,000
10	千葉	県	「玉崎神社本殿・拝殿」保存整備事業	玉崎神社	350,000
11	千葉	県	宮谷八幡宮本殿修繕事業	宮谷八幡神社	350,000
12	東京	都	春日神社本殿保存事業	春日神社	400,000
13	神奈川	県	本禅寺本堂保存修復事業	本禅寺	400,000
14	新潟	県	菊地家住宅 茅葺屋根修繕事業	菊地 市三郎	300,000
15	石川	県	無限庵御殿保存修理事業	無限庵	400,000
16	福井	県	南専寺山門保存修理事業	南専寺	200,000
17	山梨	県	台原家住宅保存修理事業	台原 洋	350,000
18	静岡	県	実相寺伽藍のうち庚申堂建造物保存修理事業	実相寺	500,000
19	三重	県	春日神社拝殿保存修理事業	春日神社	350,000

20	兵庫	県	南僧尾観音堂保存修理事業	南僧尾区	400,000
21	島根	県	永明寺 本堂保存修理事業	覚皇山 永明寺	500,000
22	熊本	県	生善院 本堂・庫裏保存修理事業	千光山生善院	350,000
23	鹿児島	県	大和浜の群倉葺替事業	大和村	300,000
			小 計(18件)		6,700,000
		指定	【有形民俗】		
24	富山	県	八尾町祭礼曳山保存修理事業	八尾町 東町曳山保存会	300,000
			小 計(1件)		300,000
		指定	【無形民俗】		
25	滋賀	県	日野曳山祭／西大路曳山保存修理事業	大字西大路	300,000
			小 計(1件)		300,000
		指定	【その他】		
26	北海道	市	恵庭市内出土金属製品保存処理事業	恵庭市教育委員会	300,000
			小 計(1件)		300,000
合 計(26件)					9,100,000

## (2) 芸術研究等助成事業

文化財の保存修復及び芸術に関する調査研究、成果の発表、国際交流事業の実施等に対する助成事業として申請のあった26件の中から、8件の事業に助成を行った。

【No. 3、4、5、8の事業については、コロナ禍により事業中止・辞退】

No.	事業名	申請者		助成額
	【研究・事業】			円
1	演奏会「和楽の美～古の花～」	露木雅弥	東京藝術大学 音楽学部 准教授	400,000
2	国宝「信貴山縁起絵巻」現状模写研究	吉村誠司	東京藝術大学 美術学部 教授	400,000
3	第3回 東京藝術大学&清華大学美術学院 テキスタイル 国際交流展2020	上原利丸	東京藝術大学 美術学部 教授	500,000
4	山西省仏教彩塑像の制作材料と技法に関する調査 —日中共同による保存修復に向けての基礎研究—	岡田 健	国立文化財機構 東京文化財研究所 客員研究員	500,000
5	世界のうるし—装飾と造形— 展覧会及びシンポジウム	松島さくら子	宇都宮大学 教育学部 教授	400,000

6	文化財保存修復を目指す人のための実践コース ～被災した文化財の第一次レスキュー～	増田勝彦	特定非営利活動法人 文化財保存支援機構 理事	500,000
7	山田流箏曲の楽譜の出版	萩岡松韻	東京藝術大学 音楽学部 教授	250,000
	小 計(7件)			2,950,000
	【研究員招致】			
8	外国人研究者招致 Remy Dereyfass-Deseigne (レミー・ドレフュス＝デュセーニュ)	早川典子	国立文化財機構 東京文化財研究所 保存科学研究センター 修復材料研究室長	300,000
	小 計(1件)			300,000
	合 計(8件)			3,250,000

### (3) 国際協力事業

文化財の保護及び芸術文化に関する国際的な協力・交流、人材養成事業など申請のあった4件の事業の中から、4件の事業に対して助成を行った。

【No. 1、2、3の事業については、コロナ禍により事業中止・辞退】

No.	事業名	申請者		助成額
				円
1	敦煌研究院より研究員招致(徐 銘君氏) 2020年10月1日～2021年9月30日	趙 声良	敦煌研究院院長	1,000,000
2	敦煌研究院より研究員招致(孫 勝利氏) 2020年10月1日～2021年9月30日	趙 声良	敦煌研究院院長	1,000,000
3	イタリアにおける文化財建築の保護に関する研究	青木孝義	名古屋市立大学 芸術工学研究科 教授	400,000
4	トルコ共和国古代遺跡出土遺物、遺構の保存、修復と若手専門家の養成	大村幸弘	(公財)中近東文化センター 附属アナトリア考古学研究所 所長	400,000
	(別途支給経費) ○敦煌研究院からの研究員来日・帰国旅費			500,000
	合 計(4件)			3,300,000

#### (4) 重点助成事業

##### ① 熊本地震被災文化財救援・復旧支援事業

熊本地震により被災した文化財の救援と修復のために平成28年度から募金を行い、5年計画の5年目になる。

令和2年度は、熊本県教育委員会から推薦のあった1件に対して助成を行った。

No.	都道府県	指定	事業名	申請者	助成額
			【美術工芸】		円
1	熊本		田中憲一被災作品 《廃船B》保存修復事業	熊本地震 田中憲一の 画を救う会 代表 渡邊秀和	400,000
			小 計(1件)		400,000
			合 計(1件)		400,000

##### ② 昭憲皇太后大礼服研究修復復元支援事業

大聖寺門跡所蔵の昭憲皇太后大礼服は、明治時代の西欧化、社会変化、殖産興業などを表象する大礼服であり、現存する最古の昭憲皇太后所用の第一礼装である。貴重な歴史資料であり、近代日本の象徴的遺産として文化財的価値が高い。

経年劣化著しい大礼服の修復、欠失している部分（スカート）の復元のため、令和元年度から令和5年度まで募金を行い昭憲皇太后大礼服の研究・修復・復元事業を実施する。

令和2年度は5年計画の2年目であり、下記の助成を行った。

No.	事業名	申請者	助成額
			円
1	昭憲皇太后大礼服研究修復復元支援事業 ①トレイン本格修理(令和2年度分) ②研究考察の探求のためのシンポジウム開催	昭憲皇太后大礼服研究修復復元プロジェクト実行委員会	5,453,152
	合 計(1件)		5,453,152

##### ③ サールナート（インド）野生司香雪の仏伝壁画保全支援事業

日本画家・野生司香雪は、昭和7年から11年に5年をかけてインドの聖地サールナートの初転法輪寺で仏伝壁画を完成させた。その仏伝壁画は、今では我が国在外の稀有な近代芸術の文化財であり、また日本・インドのみならず世界の人々との日本芸術を介した文化交流の大切な記念碑となっている。

日本画の大壁画も制作から80有余年が経ち、経年劣化が進み剥落が激しく保全措置が必要となり、令和元年度から令和3年度まで募金を行い、仏伝壁画の剥落止め、古写真のデジタル化、壁画デジタル撮影等の保全事業を実施する。

令和2年度は、コロナ禍により壁画保全作業は中止した。

令和2年9月1日から6日の間、香川県立ミュージアムにおいて「インドと日本をつなぐ郷土の日本画家－野生司香雪とサールナートの仏伝壁画」展覧会とフォーラムを開催した。

④ 尼門跡寺院文化財保存修復支援事業

尼門跡寺院の文化財保存修復事業は、故平山郁夫元理事長が上皇后から依頼を受けて実施しているものであり、平成12年度から開始され平成29年度までに29件の文化財を修復している。

今回の事業は、中世日本研究所（京都）、中世日本研究財団（ニューヨーク）が中心となり、日本だけでなく世界から寄付を募り実施する。

令和2年度は4年計画の1年目であり、下記の助成を行った。

No.	事業名	申請者	助成額
			円
1	眞如寺蔵無外如大禅尼像他研究修復出版プロジェクト ①無外如大尼坐像、由来額、仏具など美術院 修理所にて修復	中世日本研究所 所長 モニカ・ ペーテ 宗教法人 眞如寺 代表役員 江上正道	1,634,400
合計(1件)			1,634,400

⑤ その他（東日本大震災被災文化財救援・復旧支援事業）

例年実施の文化財保存修復助成申請の中には東日本大震災被災文化財の保存修復事業の案件が未だに含まれており、東日本大震災被災文化財救援・復旧支援事業の募金及び残予算もあることから、下記のとおり助成を行った。

No.	都道府県	指定	事業名	申請者	助成額
					円
【建造物】					
1	岩手	県	旧吉田家住宅主屋 復元事業	陸前高田市長	1,500,000
合計(1件)					1,500,000

## (5) シンポジウム等の開催事業、その他普及広報活動

文化財の保護及び芸術振興に関する啓蒙活動、国際交流、広報活動として広報誌の発行、文化交流フォーラムの開催、その他普及広報活動に関連し次の事業を行った。

### ① 広報誌「絲綢之路」の発行

第93号(2020-夏) 令和 2年 7月16日発行

第94号(2020-秋) 令和 2年11月16日発行

第95号(2021-新春) 令和 3年 1月28日発行

発行部数：各2,000部

配布先：都道府県教育委員会、美術館・博物館、文化財研究機関、芸術系大学  
新聞社、支援者、賛助会員、理事・評議員、その他関係者に配布

### ② 日中韓文化交流フォーラムの開催

**【コロナ禍により開催中止・1年延期】**

### ③ 「第25回妙高夏の芸術学校」の共催

**【コロナ禍により開催中止・1年延期】**

### ④ 第70回社会を明るくする運動「～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」に協力

主催：“社会を明るくする運動”中央推進委員会他

### ⑤ 講演会・シンポジウム・展覧会等の後援

ア) 平和の舞<神楽の学校2020inさくらびあ>

—レクチャー・ワークショップと神楽公演—を後援

会場：ウッドワンさくらびあ小ホール

主催：ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト

共催：廿日市市教育委員会

後援：広島県、広島県教育委員会他

イ) 「野生司香雪とサールナートの伝壁画」の展覧会とフォーラムを後援

会場：香川県立ミュージアム

主催：野生司香雪画伯顕彰会

後援：インド大使館、香川県、高松市他

ウ) 令和2年度文化財保存修復を目指す人のための実践コースを後援

主 催：特定非営利活動法人 文化財保存支援機構

共 催：独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館

後 援：公益社団法人 日本博物館協会他

エ) 第14回「文化財保存・修復―読売あをによし賞」を後援

主 催：読売新聞社

後 援：文化庁、大阪府教育委員会、独立行政法人国立文化財機構他

オ) 「第6回東京アール・パレ展」を後援

会 場：目黒区美術館

主 催：アール・パレ展実行委員会